

# 第23回 地域の防火防災功労賞

## 事例募集中！



### あなたのまちの防災に関する取組 を教えてください！

主催 東京消防庁

共催

公益財団法人 東京連合防火協会  
公益財団法人 東京防災救急協会

# 概要

「地域の防火防災功労賞」は、阪神・淡路大震災から10年目の節目にあたる平成16年6月に、地域防災力の向上を図ることを目的として創設されました。町会・自治会、事業所等の防火防災に関する取組について募集し、表彰することで広く都民に紹介するものです。

今年も、地震、風水害等の自然災害に関する町会・自治会等が主体となった地域の取組や、地域が実施する住宅防火に関する取組を募集します。

## 募集テーマ

地震、風水害等の自然災害及び住宅防火に関する町会・自治会等の地域主体の取組全般を対象とします。具体的な取組例は次のとおりです。

- 1 防災行動力の向上に関する取組
- 2 震災対策に関する取組
- 3 防災教育に関する取組
- 4 要配慮者の安全対策に関する取組
- 5 住宅防火対策や放火対策に関する取組
- 6 防災情報の収集・伝達体制の整備に関する取組
- 7 その他の取組

## 募集対象

- 1 町会・自治会等の自主防災組織
- 2 事業所
- 3 ボランティア団体（PTA、NPO法人を含む）
- 4 小学校、中学校、高等学校等の教育機関
- 5 その他の団体

## 応募方法

国分寺消防署警防課防災安全係にお申込みください。

**連絡先 042-323-0119（不明な点についてもご連絡ください）**

## 締切

令和8年3月30日（月）

## 審査

学識経験者等から構成される地域の防火防災功労賞選考委員会により審査します。

## 表彰

審査結果に基づき、以下の賞を授与します。

最優秀賞（東京消防庁消防総監賞）	3団体程度
優秀賞（東京消防庁防災部長賞）	4団体程度
優良賞（東京消防庁消防方面本部長賞）	10団体程度
選考委員長特別賞	最大5団体

## 第 2 3 回地域の防火防災功労賞調査票

所 属 名	〇〇消防署	
団 体 名	〇〇区立△△小学校	
事 例 名	〇〇小学校を拠点とした防火防災の取組	
事例の取組期間	平成23年4月～令和4年5月(14年2か月)	
募集テーマ番号	1、5	
事例の内容	<p><b>【経緯】</b> 当校が所在する東京都〇〇区〇〇地区は、今年度、東京都で不燃化推進特定整備地域に指定された古くからの木造住宅密集地域(以下「木密地域」という。)である。首都直下地震等発生時には、大規模な火災や家屋の倒壊等により甚大な被害が予想され、地域住民や事業所の力が必要とされている。当校では災害時の児童への被害を軽減するため、以前より学級活動の時間を活用し、総合防災教育を実施していたが、平成23年度から毎月、学校の授業カリキュラムに発達段階に応じた総合防災教育を導入している。</p> <p><b>【活動内容】</b></p> <p>1 発達段階に応じた総合防災教育 毎月想定を変えた避難訓練の実施と合わせて、約45分間の防災の授業を設け、ゲストティチャーに消防職団員を招いて、各学年の発達段階に応じた総合防災教育を継続的に実施している。(児童●〇名・年間12回実施) 平成27年度以降は、〇〇地区の災害時支援ボランティアや同校の消防少年団員が指導者に加わり低学年を中心に総合防災教育を実施している。(年間●回実施)</p> <p>2 訓練披露 平成27年度から〇〇地区の自治会合同防火防災訓練と協働し、これまでの児童への総合防災教育の成果を地域の方々に披露するとともに地域の区民消防隊や自治会防災部員主導の訓練を受けている。平成〇〇年9月〇日(〇)に実施した際はPTAを通して、児童の保護者に参加を呼びかけた結果、訓練参加者は若い世代の保護者も加わり1,000名を超えた。</p> <p>3 防災地域巡り 平成26年度から小学4年生以上全員を対象に、学んだ防災知識を生きたものとするため、土曜課外授業の時間を活用して、防災地域巡りを毎年実施している。〇〇地区防災運営協議会のメンバーが支援者となり、学年ごとに地域を巡り、木密地域の問題点、共助の必要性など、毎回狙いを変える等の工夫を加えている。例として5年生100名が10班編成で居住する各地域を巡り、作成した防災マップは、損保協会主催の「ぼうさい探検隊」へ10作品を応募するなど、防災意識の発展・向上を図っている。</p> <p>4 聴覚障害者に対する訓練参加の呼びかけ 平成27年度から聴覚障害者団体を通じて、〇〇地区及び周辺に居住する聴覚障害者に訓練への参加を呼びかけ、参加された方々に「7つの問いかけ」を活用して動機付けを行うとともに、「できる範囲で自分の身は自分で守る」といった手法を考えさせ、訓練を受けている。</p>	
前回受賞からの発展性または継続性	※新たに行った取組や工夫、継続的に行ったことによる効果等を記載してください。	
前回(平成〇〇年、第△回)最優秀賞受賞時から、新たに行った取組	<p>1 平成26年度から、小学4年生以上全員を対象に土曜課外授業の時間を活用して、防災地域巡りを実施し、学校と地域防災団体との連携を拡充した。</p> <p>2 平成27年度以降、〇〇地区の災害時支援ボランティアや同校の消防少年団員が指導者に加わり低学年を中心に総合防災教育を実施し、地域の防災指導者との連携をより深めた。</p>	

(裏面)

苦 勞 し た 点					
1 防災教育の指導について、小学校単独では限界があるため、周辺自治会、〇〇消防署、〇〇消防団、日本赤十字社、民生児童委員等と調整し、指導者の参画を働きかける点で苦勞した。					
2 〇〇区防災教育モデル事業で選出された5小中学校の中でも、実質的に先進的な取組みを導入する中核校であったため、あらゆる機会を活用し、防災啓発を実施したが、講師の派遣や資器材の調達など、多くの関係機関との折衝、調整が頻繁に必要となり、訓練の実施準備に苦勞した。					
セールスポイント (特徴)					
1 毎月の避難訓練に合わせて、45分間の防災教育を、学年別に発達段階に応じた内容で、継続的に実施している。ゲストティーチャーとして、消防団員や女性区民消火隊も参加している。(年12回実施)					
2 学校の教職員に対する防災指導が充実しており、ゲストティーチャーが不在の場合でも、教職員により防災教育が実施できる体制を構築している。					
3 合同訓練実施後、地区防災運営協議会の方々へ、在校生高学年を中心に、体験した訓練に対して、発見・考察したことを発表し、意見交換するなどの機会を設け、生徒児童に実際に災害が発生した場合のことをイメージさせる授業を盛り込んでいる。					
受賞歴及び応募歴		※受賞歴及び応募歴があれば必ず記載してください			
受賞歴 第〇〇回防災まちづくり大賞消防庁長官賞 (平成〇年〇月) 第〇回地域の防火防災功労賞最優秀賞 (平成〇〇年1月) 第〇回東京防災隣組認定 (平成〇〇年〇月) 地域の防火防災功労賞応募歴 計3回 (第〇回、第△回、第◆回)					
団体種別	教	他 の 場 合 ( )			
団体概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇区立〇〇小学校教職員 30名</li> <li>・〇〇地区防災運営協議会 40名 (教職員、PTA、民生児童委員、青少年育成委員、〇〇地域振興室、〇〇区防災課、〇〇消防署、〇〇消防団、周辺自治会代表者)</li> </ul>				
設立年月	平成9年4月				
問 合 せ 先	所 属 名	〇〇消防署	係 名	地域防災担当	
	担 当 者 名	消防次郎	消 防 電 話	9-00-22-333	

写真貼付表

団体名 ○○町会連合会

<h1>写真</h1>
○○地区総合防災訓練
<h1>写真</h1>
まちかど防災訓練

<h1>写真</h1>
防火防災シンポジウム
<h1>写真</h1>
防災マップ

## 第 2 3 回地域の防火防災功労賞の応募事例の概要

所属	ふりがな 団体名	ふりがな 事例名	取組概要	受賞歴 応募歴	団体種別	取組期間
〇〇	きたちようかい 北町会 防災会	ぼうさい あいことば きず ひと まち 防災の合言葉で築く人と街	<p>【取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年 2 回の防災訓練を継続して30年実施 (コロナ禍を除く)</li> <li>・防災に無関心な住民や希薄になりつつある地域の連帯感を強めるために、誰もが興味を持てる防災イベントを実施</li> </ul> <p>【セールスポイント】</p> <p>防災マップづくりなどの市民レベルで実施できる活動を取り入れ、参加者自身が考える内容とした。</p> <p>【団体の規模】</p> <p>2,000世帯 (5,000名)</p>	<p>【受賞歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回防災まちづくり大賞消防庁長官賞 (平成〇年〇月)</li> <li>・●●区長感謝状 (平成〇年〇月)</li> </ul> <p>【応募歴】</p> <p>第 5、6 回</p>	主	20年0か月
〇〇	ぼうさい ちゅうがっこう 防災 中学校	あら ぼうさい にな ていくせい 新たな防災の担い手育成!	<p>【取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防少年団員でもある中学生が、教職員とともに地域の防災訓練</li> <li>・近隣町会からD級可搬消防ポンプの寄贈を受けたことを契機に、校内で訓練を実施</li> <li>・消防少年団OBとその保護者が学校に働きかけ、学校の部活動として訓練を実施</li> </ul> <p>【セールスポイント】</p> <p>防災マップの作成やD級可搬ポンプを活用した訓練など学校の部活動として行っている。</p> <p>【団体の規模】</p> <p>18名</p>	<p>【受賞歴】</p> <p>なし</p> <p>【応募歴】</p> <p>なし</p>	教	1年2か月